



【大会概要】

日程：2022年10月14日(金)～10月16日(日)  
 主催：松本カースポーツクラブ(略称 M.C.S.C.)  
 場所：岐阜県高山市周辺  
 路面：総走行距離374.26km/SS総距離65.50km  
 SS数12本/舗装(ターマック)

【LEG1】10月15日(土)

天候/路面：晴れ/ドライ

スタート	9:00
SS1 千光寺1	10:18
SS2 牛牧上り1	11:31
SS3 アルコピア-無数河1	11:49
サービスA(20min)	12:09
SS4 千光寺2	14:10
SS5 牛牧上り2	15:23
SS6 アルコピア-無数河2	15:41
サービスB(45min)	16:01
パルクフェルメ	16:46

LEG1 Totals 184.00 km

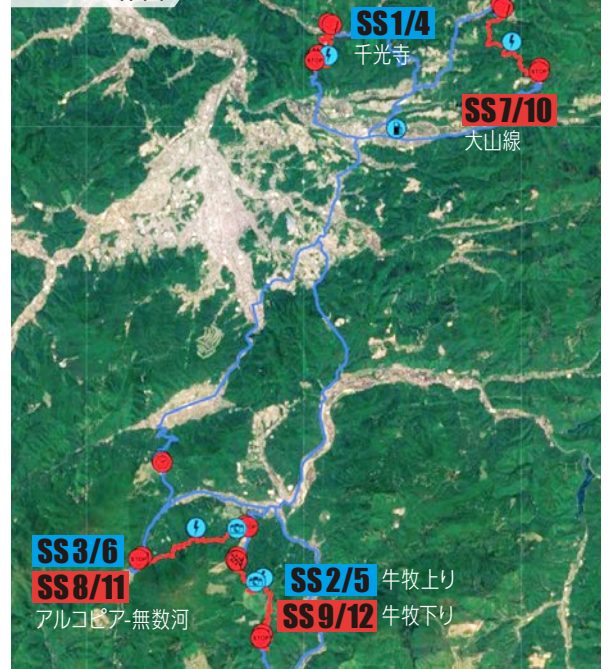
【LEG2】10月16日(日)

天候/路面：晴れ/ドライ

サービスC(15min)	7:00
SS7 大山線1	8:08
SS8 アルコピア-無数河1	9:21
SS9 牛牧下り1	9:39
サービスD(20min)	10:19
SS10 大山線2	12:10
SS11 アルコピア-無数河2	13:23
SS12 牛牧下り2	13:41
サービスE(10min)	14:24
フィニッシュ	14:40

LEG2 Totals 190.26 km

ルート全体図



シーズン最終戦の M.C.S.C. ラリーハイランドマスターズは、モンデウス飛騨位山スノーパークにサービスパークが設けられ、ひだ船山スノーリゾートアルコピアではセレモニアルスタートとギャラリー観戦が有観客にて行われた。スタートから激しい2番手争いの接戦となり4つのステージ(SS2、3、5、6)ではセカンドベストをマーク、勝田選手に3.0秒差の2位で初日を折り返す。2日目、SS8でベストタイム、続くSS9とSS12でもセカンドベストを刻み、3位と13.3秒と差を広げ2位表彰台を獲得した。

昨年よりGRヤリスでの参戦体制で車両の改良を重ねてきたが、新体制2年目の最終戦にして車両の大きなトラブルなく、攻めを通した走りで勝利を掴んだ。

【正式結果】JN-1 クラス 2位 / エントリー12台(JN1クラス) / クラス完走10台 / 全体エントリー60台

NO.	DRIVER	CO DRIVER	CLS	LEG1												LEG2				SS	PENALTY	TOTAL	POS		LEG1			LEG2		
				SS1	SS2	SS3	SS4	SS5	SS6	SS7	SS8	SS9	SS10	SS11	SS12	SS	CLS	OV	TIME				CLS	OV	TIME	CLS	OV			
1	Heikki Kovalainen	北川 紗衣	JN-1	2:24.9	4:35.4	4:43.6	2:24.6	4:33.4	4:39.0	3:29.3	4:42.6	4:37.0	3:29.3	4:35.7	4:35.9	48:50.7		48:50.7	1	1	23:20.9	1	1	25:29.8	1	1				
4	坂田原文雄	東 駿音	JN-1	2:27.3	4:40.1	4:46.5	2:24.9	4:36.5	4:42.9	3:30.0	4:41.3	4:38.7	3:31.0	4:41.9	4:40.6	49:21.7		49:21.7	2	2	23:38.2	2	2	25:43.5	2	2				
2	勝田 範彦	木村 裕介	JN-1	2:25.3	4:41.7	4:48.0	2:24.7	4:37.2	4:44.3	3:30.5	4:43.7	4:44.8	3:30.3	4:42.3	4:42.2	49:35.0		49:35.0	3	3	23:41.2	3	3	25:53.8	3	3				
7	眞貝 知志	安藤 裕一	JN-1	2:28.4	4:43.6	4:49.4	2:27.2	4:41.5	4:46.2	3:35.3	4:50.8	4:44.8	3:32.6	4:48.0	4:43.8	50:11.6		50:11.6	4	4	23:56.3	4	4	26:15.3	5	5				
6	鎌田 卓麻	松本 優一	JN-1	2:28.3	4:44.9	4:54.1	2:29.3	4:44.7	4:50.0	3:35.3	4:47.9	4:48.0	3:33.6	4:46.3	4:46.4	50:28.8		50:28.8	5	5	24:11.3	6	6	26:17.5	6	6				
5	新井 敬弘	田中 直哉	JN-1	2:27.5	4:46.4	4:53.1	2:27.8	4:43.7	4:49.7	3:33.7	4:46.2	4:46.6	3:35.6	4:47.2	4:47.2	50:24.7	0:10	50:34.7	6	6	24:08.2	5	5	26:26.5	7	7				
9	小泉 敏志	清水 昭一	JN-1	2:36.5	4:51.6	5:03.2	2:32.0	4:56.1	5:01.6	3:39.0	5:03.3	4:52.8	3:40.8	4:57.8	4:52.8	52:07.5		52:07.5	7	7	25:01.0	7	7	27:06.5	8	8				
10	HYOMA	伊藤 克己	JN-1	2:37.5	5:00.9	5:13.1	2:37.0	4:57.4	5:21.5	3:50.0	5:12.4	5:17.1	3:50.3	5:12.8	5:14.2	54:24.2		54:24.2	8	12	25:47.4	9	12	28:36.8	10	17				
12	金岡 義樹	朴木 博則	JN-1	2:48.8	5:12.1	5:34.6	2:49.1	5:31.4	5:33.5	4:05.6	5:28.2	5:25.0	4:01.6	5:28.9	5:22.8	57:21.6		57:21.6	9	29	27:29.5	10	31	29:52.1	11	34				
8	三枝 聖弥	石田 裕一	JN-1	2:36.5	7:00.9	9:42.0	2:33.4	4:52.7	5:00.8	3:44.2	4:57.3	4:55.1	3:40.5	4:57.2	4:52.8	58:53.4		58:53.4	10	36	31:46.3	11	47	27:07.1	9	9				
11	今井 聡	厚地 保幸	JN-1	2:35.0	4:53.4	5:13.4	2:32.7	4:49.9	5:05.4		3:39.2	5:08.3						R		25:09.8	8	8								
3	福永 修	齊田 美早子	JN-1								3:34.6	4:47.6	4:46.6	3:32.2	4:41.5	4:42.7										26:05.2	4	4		

※詳細は「M.C.S.C. ラリーハイランドマスターズ」公式ホームページ <https://mcsc-rally.net/highland-masters/>

**Dr. 奴田原 文雄 コメント**

ラリー競技では、タイヤ、サスペンション、エンジン、ドライバー、コドラ、メカニックなどそれぞれがベストのパフォーマンスを発揮し、なおかつ全体のバランスが取れたマシンになっていないとステージベストタイムを刻む事ができません。今回ワークスGRチームの2台を上回る速さを安定して出せたことは、チームエンジニア、メカニック、そしてサポートしてくれるスポンサーの皆様のおかげと感謝しています。良いかたちでシリーズ最終戦をしめることが出来ました。ありがとうございました。

**Co.Dr. 東 駿吾 コメント**

最終戦は晴天に恵まれ、絶好のラリー日和となりました。優勝には届きませんでしたが、大きなトラブルも発生せず、高いパフォーマンスを発揮して、2位を獲得でき、良い形でシーズンを締めくることができたと思います。

今シーズンも、色々な出来事がありましたが、チームメンバー全員が無事に活動を終えることができました。皆様からの様々なご支援に、感謝申し上げます。

**【チーム体制】**

車名：ADVAN カヤバ KTMS GRヤリス

ドライバー：奴田原 文雄

コドライバー：東 駿吾

メカニック：山田、中沢

KTMS：濱崎、飯島、松尾

カヤバ：志村、松下

HKS：大竹

マネージャー：田中





※写真は他にもございます。必要でしたらお申し付けください。

Special Thanks

